

# 投資信託 重要情報シート（個別商品編）

2022年12月

## 1. 商品等の内容（本商品は、組成会社等の委託を受け、当社が販売する商品です）

金融商品の名称・種類	追加型証券投資信託「フィデリティ・グローバル・ハイ・イールド・ファンド（毎月決算型）」		
組成会社（運用会社）	フィデリティ投信株式会社	販売委託元	フィデリティ投信株式会社
金融商品の目的・機能	投資信託証券への投資を通じて、主として海外の高利回り事業債（ハイ・イールド債券）に投資を行ない、投資信託財産の中長期的な成長を図ることを目標に運用を行ないます。		
商品組成に携わる事業者が想定する購入層	当ファンドの主要投資対象や運用内容について十分な知識や投資経験があり、主要投資対象や運用内容がご自身の投資目的に一致しており、中長期での資産形成を目的とする投資家様にご投資頂くことを想定しております。中長期的に一定程度の投資収益を求めつつ、ある程度の元本割れリスクも許容する投資家様向けのファンドです。		
パッケージ化の有無	当ファンドは、複数のファンドを組み入れるファンド・オブ・ファンズ(FOFs)です。組入れ対象ファンドの詳細については、【交付目論見書】の「1.ファンドの目的・特色」の「追加的記載事項」に記載しています。組入れ対象ファンドは、一般的には私募投資信託、外国籍ファンド等であり、個人投資家の方が個別に購入することはできません。但し、一部のファンドについては個別に購入ができる可能性がございます。	クーリング・オフの有無	クーリング・オフ（契約日から一定期間、解除できる仕組み）の適用はありません。

<次のようなご質問があれば、お取引店までお問い合わせください>

あなたの会社が提供する商品のうち、この商品が、私の知識、経験、財産状況、ライフプラン、投資目的に照らして、ふさわしいという根拠は何か。

この商品を購入した場合、どのようなフォローアップを受けることができるのか。

この商品が複数の商品を組み合わせたものである場合、個々の商品購入と比べて、どのようなメリット・デメリットがあるのか。

## 2. リスクと運用実績（本商品は、元本が保証されず、損失が生じるリスクがあります）

損失が生じるリスクの内容	当ファンドは、主として債券を投資対象としますので、組入債券の価格の下落や、組入債券の発行者の経営・財務状況の悪化およびそれらに関する外部評価の変化等の影響により、基準価額が下落し、損失を被ることがあります。また、為替相場の変動等により損失を被ることがあります。 ※主なリスクは以下のとおりです。（以下に限定するものではありません。） 価格変動リスク/信用リスク/金利変動リスク/為替変動リスク/デリバティブ（派生商品）に関するリスク/エマージング市場に関わるリスク
(参考) 過去1年間の収益率	-7.4%(2022年10月末現在)
(参考) 過去5年間の収益率	平均2.6%/最低-13.5%(2020年03月)/最高29.3%(2021年03月) (2017年11月~2022年10月の各月末における直近1年間の数字)

※当該実績は過去のものであり、将来の運用成果等を保証するものではありません。※詳細は、交付目論見書の「投資リスク」「運用実績」をご覧ください。

<次のようなご質問があれば、お取引店までお問い合わせください>

上記のリスクについて、私が理解できるように説明してほしい。

相対的にリスクが低い類似商品はあるのか。あればその商品について説明してほしい。

## 3. 費用（本商品の購入または保有等には、費用が発生します）

購入時に支払う費用（購入時手数料など）	購入申込総金額にかかわらず、3.30%（税抜3.00%）となります。 ※インターネットバンキングでご購入の場合は、上記手数料率から20%優遇となります。
継続的に支払う費用（信託報酬など）	ファンドの純資産総額に対し、年0.8624%（税抜0.784%）以内 （信託報酬＝運用期間中の基準価額×信託報酬率） ※詳細は、【交付目論見書】の「4.手続・手数料等」に記載しています。 実質的な負担：最大年率1.49%（税込）程度 ※詳細は【交付目論見書】の「4.手続・手数料等」に記載しています。 その他費用・手数料等が実費でファンドから支払われます。これらは事前に料率、上限等を表示することはできません。なお、法定書類等の作成等に要する費用、監査費用等について、年0.10%（税込）を上限としてファンドから支払われます。
運用成果に応じた費用（成功報酬など）	ありません。
売却（解約）時に支払う費用（信託財産留保額など）	0.2%

※詳細は、交付目論見書の「ファンドの費用・税金」をご覧ください。

<次のようなご質問があれば、お取引店までお問い合わせください>

私がこの商品に〇〇万円を投資したら、それぞれのコストが実際にいくらかかるのか説明してほしい。

費用がより安い類似商品はあるか。あればその商品について説明してほしい。

（裏面もご覧ください）

#### 4. 換金・解約の条件（本商品を換金・解約する場合、一定の不利益を被ることがあります）

当ファンドの償還日は2029年3月27日です。ただし、償還延長やファンドの受益権の残存口数が30億口を下回った場合等には、繰上償還となる場合があります。

当ファンドに解約手数料は生じませんが、解約した際に発生する有価証券売買コスト等、残存受益者への影響を低減する目的で基準価額に対し0.20%の信託財産留保額を頂戴し、信託財産内に留保致します。

ファンドの資金管理を円滑に行なうため、1日1件5億円を超えるご換金はできません。また、大口のご換金には別途制限を設ける場合があります。取引所等における取引の停止、その他やむを得ない事情等があるときは、購入・換金のお申込みの受付を中止すること、及び既に受付けた購入・換金のお申込みの受付を取消す場合があります。

ニューヨーク証券取引所の休業日においては、お申込みの受付は行ないません。

※詳細は、交付目論見書の「手続・手数料等」をご覧ください。

<次のようなご質問があれば、お取引店までお問い合わせください>

私がこの商品を換金・解約するとき、具体的にどのような制限や不利益があるのかについて説明してほしい。

#### 5. 当社の利益とお客さまの利益が反する可能性

当社がお客さまに当ファンドを販売した場合、当社は、お客さまが支払う費用（信託報酬）のうち、組成会社等からファンドの純資産総額に対して年0.7975%（税抜0.725%）の手料を頂きます。これは購入後の情報提供、運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理及び事務手続き等の対価です。

当社と商品の組成会社との間で、資本関係等の特別な関係はありません。

当社の営業社員に対する業績評価上、この投資信託の販売が他の投資信託の販売より高く評価されることはありません。

※利益相反の類型と管理方法については、当社HPも合わせてご覧ください。

<https://www.minatobk.co.jp/policy/conflict.html>



<次のようなご質問があれば、お取引店までお問い合わせください>

あなたの会社が得る手数料が高い商品など、私の利益よりあなたの会社やあなたの利益を優先した商品を私に薦めていないか。私の利益よりあなたの会社やあなたの利益を優先する可能性がある場合、あなたの会社では、どのような対策をとっているのか。

#### 6. 課税関係

・税金は表に記載の時期に適用されます。以下の表は、個人投資者の源泉徴収時の税率であり、課税方法等により異なる場合があります。

時期	項目	税金
分配時	所得税および地方税	配当所得として課税 普通分配金に対して20.315%
換金（解約）時および償還時	所得税および地方税	譲渡所得として課税 換金（解約）時および償還時の差益（譲渡益）に対して20.315%

・この商品のNISA、つみたてNISA、iDeCoの取扱いは以下のとおりです。

NISA	つみたてNISA	iDeCo
○	×	×

※詳細は、交付目論見書の「手続・手数料等」をご覧ください。

#### 7. 参考情報（本商品の詳細は以下の書面に記載しております。契約にあたっては必ずご覧ください）

本書面では、個別商品の商品性やリスク、運用実績、手数料等の重要な情報を簡潔に記載しています。各商品の詳細は以下のHPよりご覧いただける書面に記載していますので、ご契約にあたっては合わせてご確認ください。（HP以外に店頭でもご用意しておりますので、お気軽にお申し出ください）

組成会社が作成した「交付目論見書」および販売会社（当社）が作成した「目論見書補完書面」	組成会社が作成した「交付目論見書」および販売会社（当社）が作成した「目論見書補完書面」については、お取引店の担当者よりお渡ししております。
---	---